

## ボルグワーナー、クラス随一のオンボードバッテリーチャージャーで EVシステムにおけるリーダーシップを強化

- 先駆的なシリコンカーバイド技術で充電器の電力密度をクラス最高に
- あらゆる化学バッテリーおよび800Vまでの電圧範囲に対応可能
- 最高品質のエンジニアリングと世界有数の製造キャパシティ

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic Lissalde)は、当社の優れた技術ポートフォリオに、プラグインハイブリッド車とピュアEV向けの最新製品「オンボードバッテリーチャージャー」(OBC)を追加いたします。

当製品は、先駆的なシリコンカーバイド技術を用いることで、クラス最高の電力密度と電力変換効率、安全規制の順守を実現します。OBCはハイブリッド車や電気自動車に搭載され、送電網から送られる交流電源(AC)を、充電に用いる直流電源(DC)に変換します。なお、7.4kW、11kW、22kWの定格電力を含む幅広い範囲のAC入力に対応し、オプションで2.3~3.6kWのDC/DCコンバーターを内蔵しています。さらに、あらゆる化学バッテリーおよび400V、650V、800Vの電圧に対応することができる革新的な製品です。

ボルグワーナーのOBCの充電能力と機能は多岐に渡ります。定格7.4kWの充電力を持つOBCは、1.8kW、3.3kW、および6.6kWの充電力にも使用でき、送電網からの単相電源を使用します。また、定格充電力11kWのOBCは三相グリッド電源の高速充電方式でより効率的で、定格22kWのOBCは、三相電源でより一層効率的で迅速な高速充電が可能です。

ボルグワーナーのOBCは米国、EU、日本、中国等の多くの国や地域の規格を満たすように設計されています。メイン入力とDC出力の間の絶縁性能が良く、防水かつ防塵でISO 26262の安全規格に

対応し、液冷式の IP6K96 エンクロージャーに収容されています。適用拡大に向けて、ボルグワーナーのエンジニアリングチームは出力密度、充電力、効率、体積重量、力率、そしてさまざまな国や地域の基準への安全基準適合に対しさらなる改善を目標にしています。

ボルグワーナー・モールシステムズの社長兼事業本部長であるジョエル・ウィガート (Joel Wiegert) は、「イタリアのルゴにある当社の技術センターでは、妥協することなく、世界の電気自動車およびハイブリッド車の市場に適した車載バッテリー充電器の設計開発に取り組んでいます。最新のシリコンカーバイド技術による製品の最高電力変換効率による省エネルギー化の実現と、自動車メーカーおよびエンドユーザーの皆さまに幅広い選択肢を提供できることを誇りに思います。」と述べています。



ボルグワーナーの新製品  
ハイブリッド車、電気自動車向けのオンボードバッテリーチャージャー (OBC)

**ボルグワーナーについて**

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 68 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 30,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国民事訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的

とした」、「もたらず」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「狙い」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レート、与信枠、重要な管理への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K/A 年次報告書に記載したリスク要因など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

＜報道に関するお問い合わせ＞  
ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、佐藤  
TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316  
EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp